

## 【センター試験難化】

去る1月16・17日に今年度の大学入試センター試験が実施されました。幸いなことに、懸念されたインフルエンザによる欠席者は、本校生にはいませんでした。しかし、下の表1に示すとおり、今年のセンター試験は科目によって大きく難化したため、思うように得点できなかったという人も多かったようです。

表1 科目別平均点

	平均点		差 (2010 - 2009)
	2010	2009	
国語	105.62	115.46	-9.84
数学ⅠA	49.79	63.96	-14.17
数学ⅡB	58.66	50.86	+7.80
英語(筆)	119.80	115.02	+4.78
リスニング	29.70	24.03	+5.67
世界史B	60.97	62.70	-1.73
日本史B	62.55	57.94	+4.61
地理B	65.67	64.45	+1.22
現代社会	59.57	60.19	-0.62
倫理	69.64	71.51	-1.87
政治経済	60.21	69.31	-9.10
物理Ⅰ	55.15	63.55	-8.40
化学Ⅰ	54.66	69.54	-14.88
生物Ⅰ	70.42	55.85	+14.57
地学Ⅰ	69.69	51.85	+17.84



2010年度は大学入試センターの中間発表、2009年度は大学入試センターの最終発表のデータ

## 【国公立大学出願】

国公立大学の出願締切があと数日と迫ってきました(2月3日まで。一部大学を除く)。各業者の合格可能性予測や過去の合否データを見ながら、担任の先生や進路指導部の先生とよく相談して、悔いのない出願をしてください。思うように得点できなかった人もヤケを起こしてしまっても構いません。過ぎてしまった失敗はいつまでも引きずらない。頭を切り換えて、次のことを考えましょう。3学年の先生方も、先日の志願先検討会(3学年・進路指導部合同)では、皆さん一人ひとりによりアドバイスができるよう、夜遅くまでデータと向き合って志願先を話し合っていました。力を合わせて最後の最後まで、これからできる最良の選択と努力をしてください。

## 【国公立大学個別学力検査へ】

データネット実行委員会(ベネッセコーポレーション/駿台予備学校)によれば、受験者予想平均点(900点集計)は、文系(6教科7科目)で551点(対前年 -4点)、理系(5教科7科目)で547点(対前年 -26点)だそうです。文系理系ともに高得点層が減少し、特に理系では630点以上の高得点者が大きく減少したようです。出願先によってはボーダーライン近くに同じような得点の受験者が多数集まり、個別学力検査のわずかな点数で順位が大きく入れ替わることも予想されます。



## 【勝負する相手のことを想像してみよう】

2月に入ると学校は自宅学習期間(自由登校)になり、私立大学の入試が本格的にスタートします。受験日程をよく見て、この1ヶ月間をどのように過ごすのか、しっかりと計画を立てましょう。そして、弱気にならずに、自分の可能性を活かしきる強い気持ちを保ち続けることが大切です。

す。過去にも、センター試験では失敗したけれどもその後は気持ちを切り替えてしっかりと立ち直り、私立大学入試では納得のいく結果を出したという先輩たちが大勢います。また、センター試験の失敗にめげずに、わずかな可能性にかけてみようと、国立大学の後期試験まで果敢に挑戦し、奇跡的な合格を勝ち得た先輩もいます。いずれも、諦めることなく、また弱気になって萎縮することなく、自分の力を出し切った結果です。

センター試験が思うようにできなかったのは自分だけではない（前述の通り）。逆の考え方をすれば、「あんな難しい問題で高得点が取り切れてしまうような人は、私の相手ではない」ということもできるのです。自分と同じ大学を受験するのはどんな人が想像してみましょう。勝てない相手ではない。残された一日一日をいかに有効に使うかが大切なのです。

### 【コンディションづくり】

自由登校になっても、例年多くの3年生が毎日のように登校して、学習室や教室で受験勉強をしたり、先生方に小論文や記述問題の添削をしてもらったりしています。そうした合間に仲間たちと受験の途中経過を報告しあったり、今後の受験に向けて励まし合ったりすることが、心と体と頭のコンディションづくりにも役立っているようです。生活のリズムを保って有意義な日々を過ごすためにもぜひ学校を利用してください。ときには甘いものを友達と一緒に食べながら、ちょっとしたリラックスタイムを取るのも、やる気を奮い立たせてくれます。ただし、時間を忘れておしゃべりに没頭しては逆効果ですよ。



### 【最後まで諦めない】

国公立大学入試は後期試験までが勝負。前期試験で不合格になると、落胆し、気力が萎えてしまっただけで「もう後期試験は受けに行かなくていいや、私立の受かっているところに入学を決めてしまおう」という気持ちになるもの。でもそれは他の受験生も同じです。たとえ志願倍率が高くても、後期の場合には、すでに私立大学への入学手続きをしてしまった、あるいは気力が続かないという理由から、欠席者も多く、また、合格者の中から入学辞退者が出ることもあるので、最後まで諦めずに受験することが大切です。以前、合格可能性がE判定の大学に出願し、諦めずに後期まで受験しに行った結果、合格できたという生徒がいました。その後期試験は面接のみ50点というもので、2次での逆転はまず不可能だろうと思われていましたが、実際には欠席者が多数出たために合格できたものと思われまます。また、同様にE判定の後期試験を受験し、不合格になったものの、3月末に繰り上げ合格の電話が自宅にかかってきたという生徒もいました。

私立大学の場合も3月入試まで視野に入れて、最後まで頑張る気持ちを持ち続けてください。現役生の学力はこれからまだまだ伸びていきます。2月前半の入試でうまくいなくても、簡単に諦めてしまわずに、粘り強く挑戦しましょう。

### □■□ 2月の進路関係行事予定 □■□

2月 1日 (月)	3年自宅学習 国公立大学2次試験対策
3日 (水)	国公立大学出願締切
13日 (土)	全学講座
25日 (木)	国公立大学2次試験前期日程試験開始
27日 (土)	全学講座



### 清香馥郁 (せいこうふくいく)

4月から始まって10カ月。この紙面を通してずっと皆さんのことを応援してきました。センター試験もよく頑張りましたね。ここまでは思い通りにいった人もそうでない人もいるでしょうが、今まで努力して培ってきた力が本当に発揮されるのはこれからです。自分の力を信じて悔いのない戦いをしてきてください。皆さんの夢がかなうことを祈っています。

## 【センター試験難化】

去る1月16・17日に今年度の大学入試センター試験が実施されました。幸いなことに、懸念されたインフルエンザによる欠席者は、本校生にはいませんでした。しかし、下の表1に示すとおり、今年のセンター試験は科目によって大きく難化したため、思うように得点できなかったという人も多かったようです。

表1 科目別平均点

	平均点		差 (2010 - 2009)
	2010	2009	
国語	105.62	115.46	-9.84
数学ⅠA	49.79	63.96	-14.17
数学ⅡB	58.66	50.86	+7.80
英語(筆)	119.80	115.02	+4.78
リスニング	29.70	24.03	+5.67
世界史B	60.97	62.70	-1.73
日本史B	62.55	57.94	+4.61
地理B	65.67	64.45	+1.22
現代社会	59.57	60.19	-0.62
倫理	69.64	71.51	-1.87
政治経済	60.21	69.31	-9.10
物理Ⅰ	55.15	63.55	-8.40
化学Ⅰ	54.66	69.54	-14.88
生物Ⅰ	70.42	55.85	+14.57
地学Ⅰ	69.69	51.85	+17.84

2010年度は大学入試センターの中間発表、2009年度は大学入試センターの最終発表のデータ



## 【センター試験の難易】

1・2年生の中にも今年のセンター試験を解いてみたという人もいます。その人たちは「センター試験の難しさ」をどう感じたのでしょうか。上の表1を見てもわかるように、実は、センター試験の難易は年により、また科目により大きく変動することがあるのです。データネット実行委員会(ベネッセコーポレーション/駿台予備学校)によれば、今年度の受験者予想平均点(900点集計)は、文系(6教科7科目)で551点(対前年 -4点)、理系(5教科7科目)で547点(対前年 -26点)だそうです。文系理系ともに高得点層が減少し、特に理系では630点以上の高得点者が大きく減少したようです。このことが自分にとって有利にはたらいだ受験生と、逆に予想もしなかったような苦戦を強いられている受験生とがいることでしょう。科目の選択には幅がありますから、できれば有利な選択をしたいと誰もが思います。けれども、その年のどの教科が易しくなり、どの教科が難しくなるか、こればかりは受験してみなければわかりません。

## 【確かな学力】

大学入試センター試験は、すべてマーク式です。そこにはマーク式ならではの解き方や、選択肢の見分け方などが存在するのも確かです。しかし、あまりにもマーク式試験の解き方に学習目標を特化してしまうと、本番のセンター試験で傾向が変わったりしたときにまるで対応できないということがおきてしまいます。今大切なのは、問題の傾向や難易差などに左右されない確かな学力を身につけること。そのためには毎日の授業や定期テストで要求されているペースに合わせて、しっかりと怠りなく学習していくことです。



## 【第3回進路学習調査から】

1月14日に実施した進路学習調査の結果が出ました。その中から1・2年生の今回までの家庭学習時間の推移と、3年生および過去2年間の卒業生のデータとを比較してみたいと思います。表2が平日の家庭学習時間の平均、表3が休日の家庭学習時間の平均の推移です。

表2 平日の家庭学習時間

(時間)

	1年1回	1年2回	1年3回	2年1回	2年2回	2年3回	3年1回	3年2回
H19 卒生	2. 20	1. 86	※	1. 68	1. 93	2. 05	2. 65	3. 72
H20 卒生	2. 01	1. 56	1. 60	1. 70	1. 62	1. 84	2. 37	3. 35
現3年生	2. 19	1. 57	1. 56	1. 82	1. 57	1. 76	2. 23	3. 41
現2年生	2. 03	1. 62	1. 60	1. 92	1. 74	<b>2. 03</b>		
現1年生	1. 86	1. 52	<b>1. 63</b>					

※ H19 卒生は1年3回の調査なし。

表3 休日の家庭学習時間

(時間)

	1年1回	1年2回	1年3回	2年1回	2年2回	2年3回	3年1回	3年2回
H19 卒生	3. 87	3. 50	※	3. 10	3. 41	3. 62	4. 42	6. 54
H20 卒生	3. 21	2. 82	2. 71	2. 84	2. 86	3. 18	3. 87	5. 76
現3年生	4. 04	2. 98	2. 90	3. 03	2. 73	3. 07	3. 66	6. 00
現2年生	3. 26	2. 93	2. 81	2. 98	3. 02	<b>3. 37</b>		
現1年生	3. 67	2. 88	<b>2. 82</b>					

※ H19 卒生は1年3回の調査なし。

1・2年生ともに、過年度との比較ではまずまずの学習時間といえます。ただし1年生は、休日の家庭学習時間が前回よりも減っていますので、今後休日もしっかりと学習時間を確保できるように努力しましょう。2年生は修学旅行後の切り替えがうまくできたようですね。この調子で頑張りましょう。

授業の理解度について調査結果を見てみると、「理解できており、今のところ不安はない」「理解できているが、少し不安である」を合わせた数が、数学・英語・地歴公民では1・2年生ともに前回よりも増えているのに対し、国語・理科では両学年ともに減っています。毎日の学習を大切に、基礎学力の向上に努めてください。予習や復習はきちんとしていますか。授業をなんとかやり過ごすことだけが目標になっていたりしませんか。周りにずいぶん置いて行かれてしまったと感じている人も、授業の予習復習を丁寧にやることによって、少しずつできることが積み上がっていくはずです。諦めずに頑張ってください。

## □■□ 2月の進路関係行事予定 □■□

- 2月 1日(月) 3年自宅学習  
国公立大学2次試験対策
- 3日(水) 国公立大学出願締切
- 13日(土) 全学講座
- 25日(木) 国公立大学2次試験前期日程試験開始
- 27日(土) 全学講座



### 清香馥郁 (せいこうふくいく)

センター試験も終わり、3年生は来週から自宅学習期間(自由登校)になります。先輩たちの志望校への合格を祈りつつ、1・2年生の皆さんもやがて来る自らの受験に備え、しっかりと準備を始めましょう。まずは授業が第一。要領よくごまかすのではなく、「わかる」ことを目標に、誠実に学習に取り組んでください。